

## 第六次千葉県障害者計画 主要施策管理表

令和元年度

主要施策	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実
------	----------------------

## 総合計画から

◇障害のある子どもが、ライフステージを通じて一貫した療育支援を受けられるよう、関係機関の連携により、地域における療育支援体制の構築を図ります。

◇医療的ケア児等の支援に関して、ニーズや地域資源の状況を踏まえ、保健、医療、福祉、教育等の連携の一層の推進を図ります。

◇手帳の有無や診断名等にかかわらず障害の可能性が見込まれる子どものために、障害児等療育支援事業を活用し相談支援体制の充実及び在宅障害児等やその家族の福祉の向上を図ります。

◇ホームヘルプや障害児通所支援、訪問看護などを通じて在宅支援機能の強化を図り、子どもの育ちと子育てを支える施策に取り組みます。

◇放課後等デイサービスについては、発達支援を必要とする障害のある子どものニーズに的確に対応するため、事業所の支援の質の向上を図ります。

◇重症心身障害児(者)等が入院・入所する老朽化が進んだ千葉リハビリテーションセンターの整備の在り方について、引き続き検討します。

## 基本施策

- (1) 障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実
- (2) 障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化
- (3) 地域における相談支援体制の充実
- (4) 障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実
- (5) 障害のある子ども一人ひとりが十分に教育を受けられるための取組の充実

## 数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
30	24	14	3		2	1	4
1		13	3		1	3	4
2							

## 主要施策の取組状況等

令和元年度	<b>【取組結果】</b> (1) ライフサポートファイルの導入を市町村に働きかけ、新たに2市で導入されました。 (2) 児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、短期入所事業所については、目標を上回る設置となりました。 (3) 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置を働きかけ、新たに1圏域での設置がありました。 (4) 特別支援学校のセンター的機能の活用、特別支援アドバイザーの派遣、高等学校における特別支援教育支援員の配置や専門家の派遣等を進め、一人一人の教育ニーズに応じた支援の充実を図りました。
令和2年度	<b>【取組結果への対応】</b> (1) ライフサポートファイルの全市町村の導入に向け、市町村に働きかけるとともに活用方法についても検討していきたい。 (2) 放課後等デイサービス事業所については、サービス提供や運営体制等の自己評価の公表を求めています。 (3) 医療的ケア児支援のための協議の場の設置については、モデルケースとして2市1圏域に、設置、運営のアドバイスをを行い、その結果を各市町村に周知していきます。 (4) 引き続き、特別支援学校のセンター的機能の活用、特別支援アドバイザーの派遣、高等学校における特別支援教育支援員の配置や専門家の派遣等を進め、一人一人の教育ニーズに応じた支援の充実を図っていきます。
最終年度の判定	
令和3年度	<b>【第七次計画の方向】</b>

※最終年度の判定: 目標数に対するAの割合が7割以上に達した場合=「進展が図られています。」  
 「進展が図られています。」に該当する場合を除きA+Bの割合が7割以上に達した場合=「概ね進展が図られています。」  
 「上に記載以外の場合=「一部の進展にとどまっています。」